



NEWSLETTER

つくばデジタルバイオ国際拠点ニューズレター

2022年9月6日

vol.4. 2022 秋号

巻頭ご挨拶

筑波大学 体育系 教授 JST COI-NEXT「つくばデジタルバイオ国際拠点プロジェクト」『研究開発課題7：大規模コホートに基づく未来型統合医療情報ネットワークを用いたエビデンス創出プラットフォームによる社会実装拠点の形成』
大藏倫博 研究開発課題リーダー

平均寿命の延伸に伴い健康でいられる期間である健康寿命を延伸することが重要な課題です。健康で幸せな高齢期を過ごすためには、より早期の段階から健康状態を把握することが重要となります。本研究課題では、つくば市協力のもとつくばハピネスライフ研究を立ち上げました。筑波大学医学医療系を始め、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、国立環境研究所、多数企業との連携により、生活習慣・健康状態・環境・抗感染症に着目しWell-beingの達成を目指します。つくばハピネスライフ研究では、郵送調査および健診による生活習慣病などの関連要因の解明、生活機能等の改善プログラムの開発を行います。我々は、これまで健康長寿に向けて介入プログラムの開発、健康度評価機器などの開発を進めてきました。その経験を活かし、COI-NEXTでは、産学官民による医療・ヘルスケアサービスを提供し、健康寿命延伸のための実感あるサポートを実現して参ります。



つくばハピネスライフ研究

拠点参画研究者のご紹介

筑波大学 医学医療系
鈴木英雄 准教授(つくば予防医学研究センター部長)



つくば予防医学研究センターの鈴木と申します。つくば予防医学研究センターは疾患の早期発見、早期治療により健康長寿社会の実現を目指す目的で2017年4月に設立されました。受診者数は年々増加傾向で昨年度は1000名を超える方にご利用いただきました。名前にもあるように「研究」も大きな役割の一つで、バイオバンクへのサンプル提供や認知機能や睡眠など各グループとの共同研究も活発に行っています。この度、つくばハピネスライフ研究において当センターが会場となり身体測定や運動機能評価、認知機能評価、採血などを実施することとなりました。微力ながら私も今までの経験を基に本コホート研究の成功に貢献できればと考えております。

筑波大学 体育系 尹之恩 助教



“団塊の世代”が75歳に達する2025年には、認知症の高齢者数が約700万人と推定されており、いわゆる「2025年問題」が近づいています。認知症が発症すると日常生活に必要な動き（食事・整容・更衣・排尿・排便・入浴など）に制約が生じる重大な疾患であります。従って、認知症は医療や介護支援の依存率が高く、経済・社会に多大な負担が掛かります。しかし、未だに完治方法がないことから認知症の早期発見・予防は極めて重要です。そこで、我々はつくばハピネスライフ研究を通して、長期間に渡り「生活習慣・年代・性」別の認知機能の状態や変化を詳細に見極めて、かつ状態別（例えば、記憶力低下、思考能力低下など）に適した

「認知機能（症）低下予防プログラム」を開発し、早急に高齢者に提供・普及することを目指します。

参画企業のご紹介

株式会社タニタ 事業戦略本部 開発部

髙谷孝夫 部長

タニタグループでは、体組成計などの健康計測機器の開発・販売に加え、女性向けフィットネス「タニタフィツミー」や「タニタ食堂」、企業や自治体



向けのパッケージ「タニタ健康プログラム」を展開するなど、「健康をはかる」から「健康をつくる」サービスへと事業を拡大しています。COI では、筑波大学大藏教授にご協力いただき、下肢運動機能を簡単に計測できる「zaRitz」を開発・発売しました。本プロジェクトを通じ、今までにない発想で、人々の健康づくりに貢献できる商品の開発に取り組みます。

株式会社ニューコム シロク事業部 研究部

熊岸正夫 部長



弊社は、タッチパネルやシートセンサーを開発・製造してきました。健康分野への進出にあたって、独自のシートセンサー技術を活用して、筑波大学大藏教授と共同で

「手指巧緻性と認知機能との関連性」に基づく認知機能検査・訓練機器「ペグ・アモーレ」を開発しました。数字が理解できて、ペグを摘んで移動できる方なら「誰でも簡単に」「楽しく」トレーニングをしながら「あたまの健康管理」ができます。本プロジェクトを通じて、少しでも皆様の健康長寿に向けてお役に立てればと思います。

TOPICS

つくばハピネスライフ研究がスタートしました

研究開発課題7のプロジェクトである大規模コホート（つくばハピネスライフ研究）が始動しました。つく

ば市在住 45～89 歳の方 1 万人を対象につくば市のための健康と生活調査を実施しました。ご回答いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。今後調査に回答していただいた方を対象につくばハピネスライフ健診を実施します。対象の方には、順次参加案内を送付いたします。ご協力の程よろしく願いいたします。



つくばハピネスライフ健診

- ◆ 血液検査、体力測定、睡眠調査、認知機能検査などにより、健康状態を総合的に評価します。
- ◆ 健診結果に基づきドクターのコメントや今後のアドバイスがもらえます。

つくばグローバルサイエンスウィーク 2022 にて「つくばデジタルバイオ国際拠点 -デジタルバイオを展開するコホート研究の現状と未来-」を開催いたします

筑波大学が主催のつくばグローバルサイエンスウィーク 2022 にてセッションを開催いたします。前述のつくばハピネスライフ研究をはじめとする本拠共同で行うプロジェクトにおいて、コホート研究が担う役割と食による脱・軽度心身不調の実現について日本と世界の現状・未来を討議し、国際交流を促進することを目的としております。セッション詳細は[こちら](#)。参加登録は[こちら](#)。

本拠点研究開発代表者・筑波大学礪田博子教授が第8回アフリカ開発会議（TICAD8）のサイドイベントにて講演を行いました

本拠点研究開発代表者・筑波大学礪田博子教授が上記会議「日本・アフリカサイエンスイノベーションウィーク 持続可能な開発のための日・アフリカ間における STI 研究協働イコールパートナーシップとインクルーシブコラボレーション」にて講演を行いました。礪田教授のアフリカでの活動につきましては[こちら](#)。

【本拠点に関するお問い合わせ・記事の掲載希望などのご連絡はこちら】
筑波大学共創の場事務局
digitalbioeco@md.tsukuba.ac.jp
つくばデジタルバイオ国際拠点ウェブサイト
<https://tsukubadigitalbio.jp/>